

No.	成果指標 【データ出典】	区分	計画策定時			実績		見直しの理由(上段)	見直し後の内容			所管課						
			H27(2015)年度末 (現状値)	H30(2018)年度末 (中間目標)	2021年度末 (最終目標)	H28(2016)年度末 (現状値)	H29(2017)年度末 (現状値)		見直しの内容・考え方(下段)	成果指標	区分		2021年度末 (最終目標)					
1-1 主体的に学ぶ力の向上																		
1	学校の勉強が好きだと思う児童生徒の割合 【千葉市学力状況調査】	主観指標	小3：86.8% (H26年度末)	87.0%	88.0%	87.0%	86.3%	④主観指標であるため、目標値に対する達成状況での評価は行わない 現状の評価方法では関連するアクションプラン以外の外部要因による影響が考慮されにくいため、数値による一律の基準での評価ではなく、関連するアクションプラン以外の要因も踏まえた多面的な視点からの分析・考察を行う評価方法とする。(一律の基準による評価(◎○△×)は廃止する)				教育指導課						
			小5：77.3% (H26年度末)	78.0%	80.0%	77.3%	76.9%											
			中2：53.0% (H26年度末)	54.0%	56.0%	49.8%	53.6%											
			千葉市学力状況調査															
1-2 未来へ飛躍する力の育成																		
3	自分の考えや意見を発表することが得意な児童生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】	主観指標	小6：49.0%	51.0%	53.0%	48.2%	48.2%	④主観指標であるため、目標値に対する達成状況での評価は行わない 現状の評価方法では関連するアクションプラン以外の外部要因による影響が考慮されにくいため、数値による一律の基準での評価ではなく、関連するアクションプラン以外の要因も踏まえた多面的な視点からの分析・考察を行う評価方法とする。(一律の基準による評価(◎○△×)は廃止する)				教育指導課						
			中3：52.5%	54.0%	55.0%	50.8%	51.0%											
			全国学力・学習状況調査															
2-1 豊かな心の育成																		
5	人の気持ちが分かる人間になりたいと強く思う児童生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】	主観指標	小6：70.7%	75.0%	80.0%	-	-	①現状値が把握できなくなっているため、数値を取れるようにする ④主観指標であるため、目標値に対する達成状況での評価は行わない ①全国学力・学習状況調査の質問項目からの除外により現状値の把握ができなくなっているため、別の質問項目を成果指標として設定する。 ④変更後の成果指標も主観指標であるため、目標値の設定は行わない。数値による一律の基準での評価ではなく、関連するアクションプラン以外の要因も踏まえた多面的な視点からの分析・考察を行う評価方法とする。	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う児童生徒の割合	主観指標		-	教育指導課					
			中3：75.7%	80.0%	85.0%	-	-											
			全国学力・学習状況調査															
6	人の役に立つ人間になりたいと強く思う児童生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】	主観指標	小6：71.1%	75.0%	80.0%	70.8%	67.5%	④主観指標であるため、目標値に対する達成状況での評価は行わない 現状の評価方法では関連するアクションプラン以外の外部要因による影響が考慮されにくいため、数値による一律の基準での評価ではなく、関連するアクションプラン以外の要因も踏まえた多面的な視点からの分析・考察を行う評価方法とする。(一律の基準による評価(◎○△×)は廃止する)				教育指導課						
			中3：72.4%	75.0%	80.0%	67.1%	65.4%											
			全国学力・学習状況調査															
2-2 社会的自立に向けた強い心の育成																		
8	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】	主観指標	小6：87.3%	88.0%	90.0%	85.9%	85.4%	④主観指標であるため、目標値に対する達成状況での評価は行わない 現状の評価方法では関連するアクションプラン以外の外部要因による影響が考慮されにくいため、数値による一律の基準での評価ではなく、関連するアクションプラン以外の要因も踏まえた多面的な視点からの分析・考察を行う評価方法とする。(一律の基準による評価(◎○△×)は廃止する)				教育指導課						
			中3：71.3%	75.0%	78.0%	69.3%	68.9%											
			全国学力・学習状況調査															
9	難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している児童生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】	主観指標	小6：74.8%	76.0%	77.0%	75.1%	74.4%	①現状値が把握できなくなっているため、数値を取れるようにする ④主観指標であるため、目標値に対する達成状況での評価は行わない ①データ収集元において、H30調査から質問項目が削除されたため、千葉市学力調査の意識調査から同義の質問に置き換える。 ④変更後の成果指標も主観指標であるため、目標値の設定は行わない。数値による一律の基準での評価ではなく、関連するアクションプラン以外の要因も踏まえた多面的な視点からの分析・考察を行う評価方法とする。	色々なことに挑戦している児童生徒の割合	主観指標		-	教育指導課					
			中3：70.2%	71.0%	73.0%	69.5%	71.0%											
			全国学力・学習状況調査													千葉市学力状況調査		
10	地域や社会をよくするために、何をすべきかを考えることがある児童生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】	主観指標	小6：46.1%	47.0%	48.0%	-	42.7%	④主観指標であるため、目標値に対する達成状況での評価は行わない 現状の評価方法では関連するアクションプラン以外の外部要因による影響が考慮されにくいため、数値による一律の基準での評価ではなく、関連するアクションプラン以外の要因も踏まえた多面的な視点からの分析・考察を行う評価方法とする。(一律の基準による評価(◎○△×)は廃止する)				教育指導課						
			中3：32.3%	33.0%	35.0%	-	30.4%											
			全国学力・学習状況調査															
4-1 安全・安心な教育環境の確保																		
15	学校でのこどもの安全が守られていると感じている市民の割合 【市民1万人のまちづくりアンケート】	主観指標	61.7% (H26年度末)	63.0% (H29年度末)	65.0%	-	-	①現状値が把握できなくなっているため、数値を取れるようにする 市民1万人のまちづくりアンケートの見直しにより現状値が把握できなくなっているため、成果指標及びデータの収集手段について見直しを行う。	登下校時の見守りなど地域の人の関わりが多いと感じる市民の割合	主観指標		-	学事課 学校施設課					
			市民1万人のまちづくりアンケート													千葉市まちづくりアンケート		
4-2 魅力ある学校づくりの推進																		
17	こどもが、学校でいきいきと学び、心身ともに健やかに成長していると感じる市民の割合 【市民1万人のまちづくりアンケート】	主観指標	77.4% (H26年度末)	78.0% (H29年度末)	80.0%	-	-	①現状値が把握できなくなっているため、数値を取れるようにする 市民1万人のまちづくりアンケートの見直しにより現状値が把握できなくなっているため、成果指標及びデータの収集手段について見直しを行う。	こどもが小中学校で充実した教育を受けられると感じる市民の割合	主観指標		-	教育指導課					
			市民1万人のまちづくりアンケート													千葉市まちづくりアンケート		

No.	成果指標 【データ出典】	区分	計画策定時			実績		見直しの理由(上段)	見直し後の内容			所管課
			H27(2015)年度末 (現状値)	H30(2018)年度末 (中間目標)	2021年度末 (最終目標)	H28(2016)年度末 (現状値)	H29(2017)年度末 (現状値)	見直しの内容・考え方(下段)	成果指標	区分	2021年度末 (最終目標)	
5-1 教職員の資質指導力の向上												
18	学校の勉強がよくわかる児童生徒の割合 【千葉市学力状況調査】	主観指標	小3：90.6% (H26年度末)	91.0%	92.0%	90.6%	90.4%	④主観指標であるため、目標値に対する達成状況での評価は行わない				教育指導課
			小5：86.7% (H26年度末)	88.0%	90.0%	87.9%	87.7%	現状の評価方法では関連するアクションプラン以外の外部要因による影響が考慮されにくいため、数値による一律の基準での評価ではなく、関連するアクションプラン以外の要因も踏まえた多面的な視点からの分析・考察を行う評価方法とする。(一律の基準による評価(◎○△×)は廃止する)				
			中2：68.4% (H26年度末)	72.0%	75.0%	69.4%	71.2%					
			千葉市学力状況調査									
5-2 「チーム学校」の実現												
19	様々な取組みが、子どもと向き合う時間の確保に有効であったと感じる教員の割合 【市教育職員課調べ】	主観指標	70.8% (H26年度末参考数値)	85.0%	95.0%	74.7%	68.5%	⑤その他(下記に見直しの理由を記載) 現在、策定を進めている「学校における働き方改革プラン」において、勤務時間を除く在校時間の削減を目標としており、成果指標として対応しいため。	教員一人当たりの勤務時間を除く在校時間の月平均時間数	客観指標	月平均39時間	教育職員課
			千葉市教育委員会教職員課調べ			教育職員課調べ						
6-1 特別支援教育の充実												
20	小・中学校における特別支援学級の個別的教育支援計画作成の割合 【市教育支援課調べ】	客観指標	39.1%	85.0%	95.0%	84.4%	95.3%	②33年度末(最終)目標値の再設定【上方修正】 新学習指導要領において、特別支援学級に加えて、通級指導教室での支援計画の作成も義務となったため。	-	客観指標	100.0%	教育支援課
			千葉市教育委員会教育支援課調べ			教育支援課調べ						
21	「卒業後を見通した連続性のある教育が行われている」と答える特別支援学校の保護者の割合 【市教育支援課調べ】	主観指標	67.6%	80.0%	90.0%	76.6%	75.0%	④主観指標であるため、目標値の設定を行わない 現状の評価方法では関連するアクションプラン以外の外部要因による影響が考慮されにくいため、数値による一律の基準での評価ではなく、関連するアクションプラン以外の要因も踏まえた多面的な視点からの分析・考察を行う評価方法とする。(一律の基準による評価(◎○△×)は廃止する)				教育支援課
			千葉市教育委員会教育支援課調べ									
6-2 いじめや不登校の未然防止と早期発見・対応												
22	学校に行くのは楽しいと思う児童生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】	主観指標	小6：86.4%	88.0%	90.0%	84.5%	84.0%	①現状値が把握できなくなっているため、数値を取れるようにする ④主観指標であるため、目標値に対する達成状況での評価は行わない	がんばったことを、先生や友だちからほめられることがよくある児童生徒の割合	主観指標	-	教育指導課
			中3：81.5%	83.0%	85.0%	79.6%	78.9%	①データ収集元において、H30調査から質問項目が削除されたため、千葉市学力調査の意識調査における質問項目を成果指標として設定する。 ④変更後の成果指標も主観指標であるため、目標値の設定は行わない。数値による一律の基準での評価ではなく、関連するアクションプラン以外の要因も踏まえた多面的な視点からの分析・考察を行う評価方法とする。				
			全国学力・学習状況調査			千葉市学力状況調査						
6-3 学習や社会生活が困難な子どもへの支援												
25	家で、自分で計画を立てて勉強することを全くしていない児童生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】	主観指標	小6：10.3%	10.0%	9.0%	10.7%	10.7%	④主観指標であるため、目標値に対する達成状況での評価は行わない				教育指導課
			中3：17.8%	16.0%	14.0%	16.4%	16.5%	現状の評価方法では関連するアクションプラン以外の外部要因による影響が考慮されにくいため、数値による一律の基準での評価ではなく、関連するアクションプラン以外の要因も踏まえた多面的な視点からの分析・考察を行う評価方法とする。(一律の基準による評価(◎○△×)は廃止する)				
			全国学力・学習状況調査									
7-1 地域とともにある学校づくりの推進												
27	日頃、地域で子どもへの声かけや見守り活動を行っている市民の割合 【市民1万人のまちづくりアンケート】	主観指標	13.8% (H26年度末)	19.0% (H29年度末)	20.0%	-	-	①現状値が把握できなくなっているため、数値を取れるようにする 市民1万人のまちづくりアンケートの見直しにより現状値が把握ができなくなっているため、成果指標及びデータの収集手段について見直しを行う。	この1年間に、小中学校を支援する活動に参加した市民の割合	主観指標	-	学事課
			市民1万人のまちづくりアンケート			千葉市まちづくりアンケート						
28	市内の学校は地域に開かれていると感じる市民の割合 【市民1万人のまちづくりアンケート】	主観指標	40.0% (H26年度末)	50.0% (H29年度末)	60.0%	-	-	①現状値が把握できなくなっているため、数値を取れるようにする 市民1万人のまちづくりアンケートの見直しにより現状値が把握ができなくなっているため、成果指標及びデータの収集手段について見直しを行う。	学校と保護者会・町内自治会などが連携・協働する体制ができていていると感じる市民の割合	主観指標	-	学事課
			市民1万人のまちづくりアンケート			千葉市まちづくりアンケート						